

令和 5 年 1 0 月 2 6 日

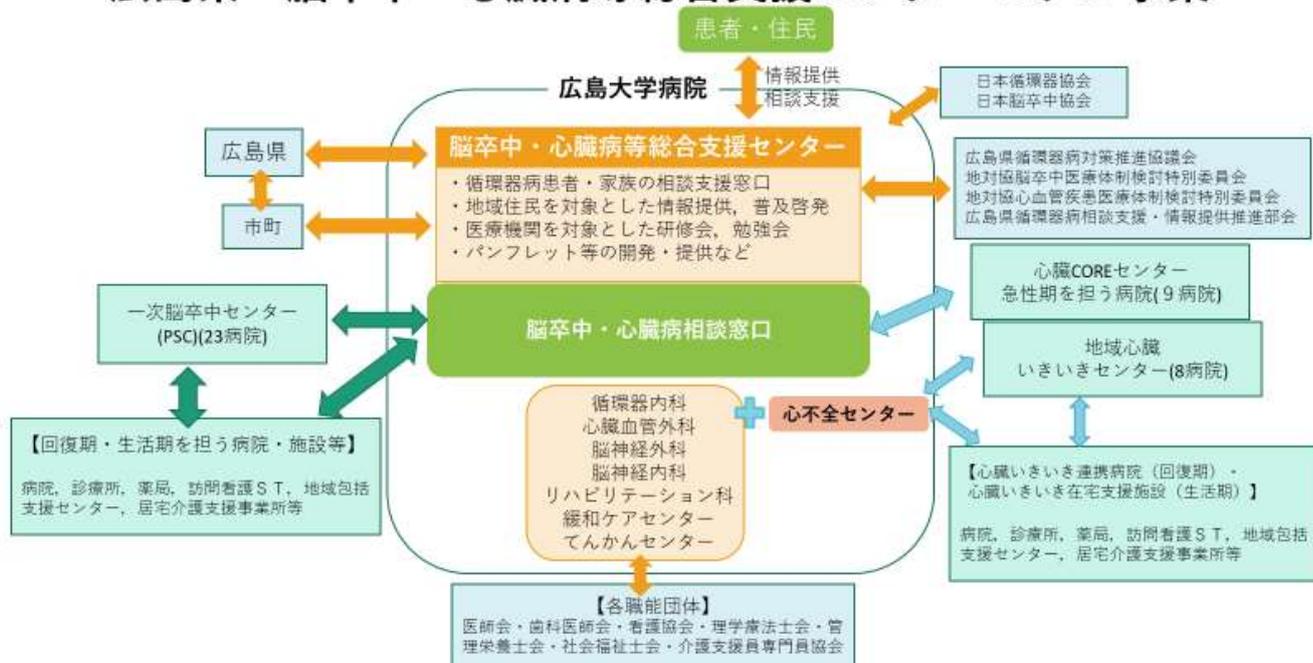
厚生労働省 令和 5 年度「脳卒中・心臓病等総合支援モデル事業」に選定され、広島大学病院に脳卒中・心臓病等総合支援センターを設置しました

厚生労働省の令和 5 年度「脳卒中・心臓病等総合支援モデル事業」に広島大学が選定され 10 月 1 日、「脳卒中・心臓病等総合支援センター」(センター長：中野由紀子・循環器内科教授)を大学病院に開設しました。患者相談窓口を置き、循環器内科、脳神経外科、脳神経内科、心臓血管外科などが連携し、多職種による 24 人(兼任含む)で診療体制の構築に取り組みます。また、情報提供や普及活動にも力を入れていきます。国からの補助金は 1800 万円です。

なお、中国四国地区では、鳥取大学医学部附属病院や愛媛大学医学部附属病院も今年度選定されています。

モデル事業は都道府県と地域の中心的な医療機関が連携して、患者への包括的な支援体制を推進するものです。広島県とともに実施計画を作成しました。具体的には①循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置②地域住民を対象とした循環器病について予防に関する内容も含めた情報提供・普及啓発③地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催④相談支援を効率的に行う、資材(パンフレットなど)の開発・提供を進めていきます。

広島県 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業



【お問い合わせ先】

広島大学病院循環器内科教授 中野由紀子
 Tel : 082-257-5540 (平日 10:00~17:00)
 E-mail : nakanoy@hiroshima-u.ac.jp